

令和元年度第1回一橋大学機関リポジトリ運営会議議事要旨

日 時：令和元年6月26日（水）13時30分～14時50分

場 所：附属図書館会議室

出席者：大月（統括責任者）、塩路、星名、望月、大出 各委員

欠席者：山下、友部、玉井、若尾 各委員

事務局：学術情報課（山中、村井、山本、東別府）

委員の紹介

議事に先立ち、資料1に基づき令和元年度機関リポジトリ運営会議委員の紹介があった。

I. 前回議事要旨の確認

資料2に基づき、前回議事要旨の確認を行った。

II. 審議事項：

1. 平成30年度一橋大学機関リポジトリ事業決算報告（案）

村井電子情報係員より、資料3に基づき説明があり、原案どおり承認された。

また、以下のとおり補足説明があった。

- 執行額の合計について、年度末に実施した学園史資料関連の外注経費が実績ベースで予測を上回ったことにより支出が超過したため、図書館運営経費により補填した。

2. 令和元年度一橋大学機関リポジトリ事業計画（案）

村井電子情報係員より、資料4に基づき説明があり、以下のとおり質疑応答を行った後、原案どおり承認された。

- ワーキングペーパーの登録について、DOIを付与しているか。
→DOIは永久識別子であり、差し替えのあるワーキングペーパーの性質にそぐわないため付与していない。
→ワーキングペーパーにもできる限りDOIを付与した方がよいと考えるが、個別に依頼すれば付与は可能か。
→現行の運用としては行っていないがニーズがあるようなので付与することを検討する。なお、現在でもハンドルという永久識別子は全アイテムに付与している。

3. 令和元年度一橋大学機関リポジトリ事業予算（案）

村井電子情報係員より、資料5に基づき説明があり、原案どおり承認された。

4. HERMES-IRに登録する資料の著作権処理の進め方について（案）

村井電子情報係員より、資料6に基づき説明があり、以下のとおり質疑応答を行った後、原案どおり承認された。

- 資料の性質によっては対応に注意が必要な場合もあるが、一律にオプトアウトすることに問題はないのか。

→対象となる資料のほとんどは既に出版公開されているものであり、さほど問題はないと考えられるが、手記などは伏せ字にする等の対応が必要となることもあり得る。いずれの場合も、オプトイン・オプトアウトのどちらの方式を採用するかについては都度、統括責任者が判断することとなる。

5. その他

特になし。

Ⅲ. 報告事項：

1. 平成 30 年度一橋大学機関リポジトリ事業実施報告

東別府電子情報係員より、資料 7 に基づき報告があった。資料 7(1)「(6)本学関係刊行物」の実施結果について、村瀬文庫目録類のメタデータ作成は「昨年度」ではなく「平成 29 年度」であるとの訂正があった。

2. 博士論文の本学機関リポジトリ (HERMES-IR) 登録状況について

村井電子情報係員より、資料 8 に基づき報告があり、以下のとおり質疑応答を行った。

- 要約の登録について、論文提出時に要旨を提出しているが、それを要約として登録することはできないか。
→要約の要件は各研究科が定めているため、研究科が要旨と同じ内容の要約を認めると判断すれば可能である。
- やむを得ない事由で全文を提出することが難しく、また要約の提出まで時間を要する場合には、一時的に要旨を要約として認め、後日要約を提出し差し替えることとしてはどうか。
→統括責任者から研究科長に相談することとする。

3. 一橋大学機関リポジトリ “HERMES-IR” の利用統計について

村井電子情報係員より、資料 9 に基づき報告があった。

4. その他

特になし。

Ⅳ. その他：

特になし。

(以上)